

| 令和元年度 第1回八王子市食育推進会議 | |
|---------------------|--|
| 日時 | 令和元年7月25日(木) 午前13時30分～午前15時 |
| 場所 | 八王子市保健所 別館1階 |
| 出席者氏名 | 委員 大村香織、河村智里、小池さとみ、佐藤咲、瀬々義之、土門陽子、内藤里美、橋本直樹、藤塚康子、星野厚子、松岡誠子、松本勉、米津元一 |
| | 事務局 裕野健康増進担当課長、松浦主査、土井、山尾 原田美江子健康部長 |
| 欠席者氏名 | 浦野慎一、峯尾誠、山本徹 |
| テーマ | (1) 八王子市食育推進計画と八王子市食育推進会議の役割 (2) 平成30年度 第2期八王子市食育推進計画の評価について (3) 市民意識調査の実施について |
| 傍聴人 | なし |
| 配布資料 | <p>〈当日配付資料〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第、委員名簿 ・ 資料2【差し替え】今度の予定について ・ 資料3【差し替え】八王子市食育推進会議開催要綱 ・ 資料4 第2期食育推進計画 中間評価一覧 ・ 資料5 新規事業資料 ・ 資料6 市民意識調査について ・ 資料7 第2期八王子市食育推進計画づくりに関するアンケート調査 ・ 資料8(子ども向け) 第2期八王子市食育推進計画づくりに関するアンケート調査(保育園用) <p>〈事前配付資料〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【冊子】第2期八王子市食育推進計画(本編・概要版) ・ 第2期八王子市食育推進計画づくりに関する意識調査 報告書 (今年度より委員になられた方のみ) ・ 資料1 第2期八王子市食育推進計画 評価一覧 ・ 資料2 今後の予定について ・ 資料3 八王子市食育推進会議開催要綱 |
| 議事 | |
| 1. 開会 | |
| 発言者 | 内容 |
| 事務局 | ただいまより、令和元年度第1回八王子市食育推進会議を開催いたします。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。本推進会議は開催要綱にもございますように、八王子 |

| | |
|-------------|--|
| <p>事務局</p> | <p>市における食育に関する取組みを総合的な見地から協議、意見交換を行う場としております。会議は原則、公開となっております。</p> <p>本日の傍聴人について確認いたします。</p> <p>また、会議録作成のため録音させていただきますので、ご了解ください。</p> <p>本日、傍聴を希望されている方はおりません。</p> <p>いらっしゃらないようですので、このまま進めます。</p> <p>それでは、会議にあたりまして、健康部長（八王子市保健所長）の原田から、ご挨拶を申し上げます。</p> |
| <p>健康部長</p> | <p>健康部長（八王子市保健所長）原田でございます。</p> <p>本日はお忙しい中、八王子市食育推進会議にご出席いただきありがとうございます。</p> <p>八王子市の市民が健康を維持・増進するにはまず食事が大切です。</p> <p>これからの食育をどう進めていくのかを計画していく会議とします。</p> <p>それぞれ皆さんが感じている事をお話いただき、それを行政に反映させていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>ありがとうございました。</p> <p>自己紹介が遅くなりましたが、本食育推進会議の事務局をさせていただきます健康増進担当課長の松野と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>ここから会議の進行を健康部長の原田にお願いしたいと思います。</p> |
| <p>健康部長</p> | <p>それでは、これより私の方で会議を進めさせていただきたいと思えます。</p> <p>まず、事務局より配布資料の確認をいたします。事務局、お願いいたします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>まず、本日の配付資料の確認をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の次第、委員名簿 ・ 資料 2【差し替え】今度の予定について ・ 資料 3【差し替え】八王子市食育推進会議開催要綱 ・ 資料 4 第 2 期食育推進計画 中間評価一覧 ・ 資料 5 新規事業資料 ・ 資料 6 市民意識調査について ・ 資料 7 第 2 期八王子市食育推進計画づくりに関するアンケート調査 ・ 資料 8（子ども向け）第 2 期八王子市食育推進計画づくりに関するアン |

| | |
|------------------------|---|
| <p>事務局</p> <p>健康部長</p> | <p>ケート調査（保育園用）</p> <p>続きまして、事前に配付した資料の確認をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【冊子】第2期八王子市食育推進計画（本編・概要版） ・第2期八王子市食育推進計画づくりに関する意識調査 報告書（今年度より委員になられた方のみ） ・資料1 第2期八王子市食育推進計画 評価一覧 ・資料2 今後の予定について ・資料3 八王子市食育推進会議開催要綱 <p>食育推進計画の冊子を本日お持ちでない方や不足している資料がありましたら、事務局までお声掛けください。</p> <p>それでは、これから議事を進めさせていただきます。 推進会議では皆様のご意見をいただきながら、進行してまいりたいと存じますので、よろしくお願いいたします。</p> |
|------------------------|---|

2. 自己紹介

| 発言者 | 内容 |
|------|--|
| 健康部長 | <p>それでは次第の2に移ります。「委員の皆様による自己紹介」をお願いしたいと思います。後程、情報交換の時間を設けておりますので、この場では所属とお名前のみをおっしゃってください。</p> |
| 各委員 | <p>【自己紹介】</p> |
| 健康部長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>皆様の日頃の活動については、情報交換の中でお話をお聞きしたいと思います。</p> <p>本日の欠席者の確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八王子市私立幼稚園協会 浦野氏 ・東京都八王子食品衛生協会 峯尾氏 ・永生会 リハビリ統括管理部 山本氏 <p>この3名が欠席となります。</p> |

3. 議事

(1) 八王子市食育推進計画と八王子市食育推進計画会議の役割

| 発言者 | 内容 |
|-----|----|
|-----|----|

| | |
|------|---|
| 健康部長 | <p>続きまして3のテーマに移ります。</p> <p>一つ目のテーマとなります「食育推進計画と食育推進会議に役割について」事務局より説明させていただきます。</p> |
| 事務局 | <p>それでは本会議の主旨及びこの計画についてご説明させていただきます。</p> <p>お手元に資料3、八王子市食育推進会議開催要綱、第2期八王子市食育推進計画の冊子の準備をお願いいたします。</p> <p>資料3の要綱に記載してあるとおり、本会議は進捗管理を行うことが目的ではありますが、色々な団体の方に出席していただいておりますので、計画の進捗管理だけでなく、皆様のネットワークのづくりの場としても本会議を設定しております。</p> <p>まず、八王子市の食育推進計画についてご説明させていただきます。</p> <p>第2期八王子市食育推進計画の冊子の3ページをご覧ください。3ページの3、第2期八王子市食育推進計画の位置づけについてです。食育推進計画は国で定めている食育基本法の中にあり、各自治体、市町村レベルでも食育に関わる計画の策定が努力義務として位置づけられています。平成23年から八王子市では第1期計画を策定し、第2期計画へと現在進んでおります。平成23年に食育推進計画を策定したのは自治体の中で早い方だと言われております。平成23年から刻まれてきたネットワークを第3期でもつなげていけたらと思っております。</p> <p>他にも様々な計画があり、3ページの下の図にありますように食育推進計画だけでなく八王子市基本構想・基本計画という大きな目標がございます。その下にさらに分野ごとに分かれています。食育推進計画は保健医療計画の中の個別計画に位置づけられております。</p> <p>第1期計画、第2期計画と特徴がそれぞれありました。</p> <p>第1期計画では地域の中で食育の認知度が低かったため、食育の普及啓発及び食育に関して取り組む団体を増やすことが目標でした。</p> <p>第2期計画を策定していく中で、市民意識調査を実施しました。その結果、食育に関して認識度の変化がありました。15ページをご覧ください。平成21年度調査では食育という意味も知らなかったという方が14.2%でした。それが平成27年度の意識調査では言葉も意味も知らなかったと答えた方が8%でした。知らなかったと回答している方が減少してきていることから食育という言葉が浸透してきたことがわかります。また、食育に関連する団体が増え、徐々に普及啓発が進んできたことが考えられます。</p> <p>第2期計画では第1期計画で食育が徐々に広まってきた現状を踏まえて何を重点にすべきか考え、重点項目を掲げました。</p> <p>35ページ、36ページをご覧ください。この食育推進計画というものは計画の将来像を「食を大切にする人々を育むまち」とさせていただき、基本目標は3つ掲げてあります。それぞれの基本目標を達成するための</p> |

| | |
|--|---|
| <p>事務局</p> <p>健康部長</p> | <p>展開方法があり、全てのライフステージに応じた食育を進めるというのがございます。食育というと子どもというイメージが強いと思いますが、中学生、高校生、大学生や働き盛りの方々全ての方にも必要なものです。そのため全てのライフステージを考慮した取組みとなっております。その中でも児童・生徒の食育、青年の食育、成人の食育について重点項目を掲げて現在も進めているところです。</p> <p>展開方法の2では食に関わる様々な場面をとらえた、地域の特性を活かした取組を進めることです。地元の農産物を活用した交流・体験をしたいという意見が多かったことから重点項目に挙げております。</p> <p>展開方法3では食育に関わる個人や団体を支援し元気づけることです。現在、食育に関係する団体は増えているが横のつながりであるネットワークづくりが課題であり、関係団体との連携・協働をさらに深めていこうということから重点項目を食育ネットワークの強化とさせていただきました。</p> <p>これらが第2期計画の基本的な目標とし、それぞれの項目を各所管課の方が取り組み、今現在進捗管理をさせていただいております。</p> <p>事務局の説明が終わりましたが、ご質問などございますか。 いらっしゃらないようなので次に進みます。</p> |
| <p>(2) 平成30年度 第2期八王子市食育推進計画の評価について</p> | |
| <p>発言者</p> | <p>内容</p> |
| <p>健康部長</p> <p>事務局</p> | <p>続きまして、テーマの(2)「平成30年度 食育推進計画の評価について」事務局より説明いただきます。</p> <p>事務局より説明いたします。</p> <p>まず、食育推進計画の冊子45ページをご覧ください。</p> <p>3の評価の時期についてですが、本計画は平成28年度から令和2年度の5か年計画になっており、45ページの3. 評価の時期に記載のとおり進捗状況の管理を毎年度実施するとともに、平成30年度に中間評価を行っております。</p> <p>評価項目としては、冊子45ページの2. 評価にあるとおり、大きく3つの基本目標があります。1つ目は望ましい食生活を送る。2つ目は食の基本的な知識、マナー、スキルを身に付ける。3つ目は食を通じて、家族、地域、自然とつながるです。この3つの基本目標に対して評価を行っていきます。</p> <p>評価の例として基本目標の右に指標を記載しております。望ましい食生活を送るという基本目標に対して朝食を「ほぼ毎日(週に6~7日)食べている」人の割合ということで、保育園、小学生、中学生、高校生、市民と年代別に分けてそれぞれの目標値を定めております。こちらについては、今年度10月・11月頃に意識調査を実施して評価を行いたいと考えております。</p> <p>その前段として昨年度実施した中間評価と今年度実施した進捗状況の管理</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>の報告をさせていただきます。</p> <p>評価項目としては冊子の 35 ページ、36 ページをご覧ください。37 ページ以降に具体的な取組方法について詳しく記載されています。</p> <p>個々の内容について中間評価及び今年度評価しております。そちらが資料 1 と資料 4 となります。</p> <p>A3 の資料 1 は今年度の評価一覧になります。資料 4 は昨年度実施した中間評価となっております。</p> <p>資料 1 の 2 枚目以降の A3 の紙に個々の進捗管理について、中間評価が真ん中あたり、右側に平成 30 年度の取り組み内容（実績）評価になっております。こちらをもとに説明させていただきます。</p> <p>資料 1 の右側にそれぞれの内容に対する取組み数を書いてあり、その一番下に合計があります。取組み数合計が 83、そのうち A 評価が 76、B 評価が 7、C 評価が 0 となっております。全ての項目について報告させていただくと時間の関係もありますので、本日は B 評価の 7 項目と新規事業の 2 項目についてご説明いたします。</p> <p>まず、評価の説明をさせていただきます。評価は ABC の 3 段階で行っております。A が順調に進捗している。及び達成できる。B が取り組みに遅れあり。及び現状のままでは達成が難しい。C が達成困難及び達成できないとなっております。</p> <p>それでは B 評価についてご説明いたしますので、A3 用紙の 4 ページをご覧ください。取組み番号 16「小中一貫教育授業研究委員会の実施」は委員会が未だ発足されていないため B 評価となっております。取組み実績には食育リーダー研修を実施し、食育の実践につながるようにしたとあります。食育リーダーとは食育の中心となる教員のことで各学校に 1 名程度在籍しています。取組番号 17 の内容でもあり、その取り組みを代替案としていますが、委員会の実施が本計画の目標でありますので、B 評価となります。</p> <p>続いて 5 ページの取組み番号 29 の児童生徒によるレシピコンテストの開催についてです。現状は未実施ですが、現在実施に向けて、関係所管課や関係機関と連携を行い実施に向けて検討をしております。</p> <p>続いて 6 ページの取組み番号 35 の特定健康診査、特定保健指導の実施についてですが、本取組については、保健医療計画にも同様に掲載させていただいています。ここ数年の特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率については横ばいですが、他の自治体と比べて劣っているというわけではありません。国の掲げる数値目標が 60% と高いため、達成できず B 評価となっております。今後は受診勧奨や特定保健指導の案内通知はがきを圧着タイプにする、記載内容やデザインについても親しみやすいような内容にするなど検討しています。また、電話勧奨についても、連絡がつかない場合は時間帯を変えて電話を入れるような工夫も取り入れ始めました。</p> <p>続いて 7 ページの取組み番号 42 の口腔ケアのための講座の実施についてで</p> |
|-----|--|

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>すが、口腔ケアのための講座を開催していて、講座の実施回数、参加人数の増加を目標としています。平成 28 年度は実施回数 35 件、参加者数 782 名でしたが、平成 30 年度は実施回数 22 件、参加者数 447 名と減っており、アンケート結果から講座の満足度については高いが、目標としている実施回数参加者数が減っているため、B 評価となっております。</p> <p>続いて 10 ページの取組み番号 67、68 の食の循環モデル事業の実施についてですが、市内の小学校 2 校で、給食の残飯を堆肥化して、近所の農家さんに肥料として渡し、そこで出来た野菜を小学校の給食につなげるという循環を進める取り組みです。1 校の生ごみ処理機が老朽化のため故障し修繕の対応が出来ないため、B 評価となっております。段ボールコンポストに変更するなどの工夫をして、食の循環について進めていけるよう検討しています。</p> <p>最後に 12 ページの取組み番号 83 の八王子市食育ネットワークの開催についてですが、市民の一人ひとりが食に関する正しい知識・情報を適切に得られるきっかけづくりとして食環境整備を充実させるため、食育ネットワークを強化するという事で、食育に関する様々な立場の方に集まっていたい進めていけたらと検討しています。しかし、現在は開催が出来ておらず、B 評価となっております。今後についてですが、この会議を軸に目的やメンバー構成、開催頻度等を決定してネットワークづくりが出来ればよいかと考えております。</p> <p>B 評価の 7 項目については以上となります。</p> <p>続きまして資料の 5 をご覧ください。</p> <p>こちらが今年度の追加の取り組みとなります。</p> <p>資料 5-1 の A3 の用紙の取組み番号 44 食楽訪問の実施となっております。昨年度より評価検証を行い今年度からの実施となります。資料をご覧ください。食楽訪問とは食べることに困りごとや偏った食事をしているなどの栄養に関する心配ごとに対して助言を行うサービスです。</p> <p>続いて資料 5-2 を A3 の資料の 12 ページの 79 と合わせてご覧ください。</p> <p>飲食店・外食事業者と連携した食品ロスの削減とあります。八王子市完食応援店はごみ減量対策課が行っている事業で食品ロスに関する法案が 6 月出されたことから重要な取組であります。協力方法としては食品ロス削減啓発物の掲示、小盛り対応、小盛りメニューの導入などの食品ロスに関する取組について協力してくださる店舗を徐々に増やしていくことで食品ロス削減を進めていくことを目標としています。現在 100 店舗以上の飲食店の方が取り組んでいただいている事業です。</p> <p>続きまして、資料 5-3 と取組番号 78 をご覧ください。</p> <p>はちおうじ健康応援店の事業に現在取り組んでいます。小盛りのメニューの対応などが完食応援店の取り組みと共通しているため、ごみ減量対策課とも協力して取り組んでいます。はちおうじ健康応援店は平成 23 年から行っていたヘルシーメニュー登録店からの移行事業となります。ヘルシーメニュー登</p> |
|-----|---|

| | |
|------|--|
| 事務局 | <p>録店では1食120gの野菜を使っている、エネルギー550～750キロカロリー以内と決まっており、飲食店の負担が大きかったことや減塩、食事量の調節等の観点が抜けていた為、今回このような項目を加え、取り組み項目のうちどれかひとつでも取り組むことができれば健康応援店として登録できるようにしました。また、なるべく多くの飲食店の方に参加していただけるように以前のヘルシーメニュー登録店事業より敷居を下げ、ヘルシーメニュー登録店の飲食店の方からの意見を反映させました。</p> <p>以上がB評価と新規事業3つのご説明とさせていただきます。</p> <p>すべて行政が行っている事業評価ですので、A評価が多くC評価が少ないと思いますが、我々も現状とかい離している部分もあると解釈しております。具体的にどのようにかい離しているかについてこのあとご意見いただけたらと思います。</p> |
| 健康部長 | <p>ありがとうございました。新規事業等についてご質問などございますか。</p> |
| 委員 | <p>健康応援店と完食応援店を登録するのは市であるが、お客としてお店に行った場合に取り組んでいることがわかるのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>健康応援店に関してはこのような食育のキャラクターであるはっちくんのイラストが入ったオレンジのステッカーをお店の前に貼ってもらっています。完食応援店では市の鳥であるおおりのくるりというキャラクターのステッカーが店舗に貼ってあります。</p> <p>健康応援店と完食応援店の両方取り組んでいただける店舗に対してはステッカーをそれぞれ2枚貼ってもらっていますが、現在1つのステッカーで作成しているところです。</p> <p>その他にホームページに登録店舗の一覧を掲載しています。</p> |
| 委員 | <p>登録されている店舗の添加物はすべて把握しているのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>今回の取り組みからは外しています。はちおうじ健康応援店の主旨は血圧や血糖値が他の自治体より高いことや脳血管疾患で若くして亡くなる方が多いことからこのような取り組み項目を選んでいきます。</p> <p>また、働き盛りの方がふらっとお店に立ち寄ったときに減塩の大切さの情報をもらえたり、減塩醤油があったりとちょっとしたことで飲食店の方が気軽にできるようにハードルを低くして始めています。今後取り組んでいく中で更に取り組み項目を増やしたり、内容の質を上げたりとバージョンアップしていこうと検討しています。</p> |
| 委員 | <p>健康応援店についてですが、お店に入った際にどのような取組をしているの</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>かわかるようになっていきますか。</p> <p>このような取組がわかるようなポスターを貼っています。どの取組をしているかについてお店側でチェックできるようになっていますが、取り組み項目にチェックを入れることを強制していません。</p> <p>はちおうじ食育ネットには登録店舗がどの取組をしているかわかるように標記しています。しかし、現在不具合の関係でアクセスできない状態となっておりますが、早急に対応を行っているところです。併せて紙媒体で登録店舗一覧が配付できるように進めています。</p> <p>6月1日から新規事業として募集をし、現在52店舗の登録、申請中の店舗が4店舗あります。</p> <p>健康という名前で敷居が高いと思われがちなので、食品衛生講習会などで説明をしながら多くの店舗に御協力していただけるように進めていく予定です。</p> |
| 委員 | <p>取組の中で野菜の摂取とあるが、最近の若い人の一部は野菜しか食べないといった偏った考え方をしている人もいます。</p> |
| 事務局 | <p>間違った情報を鵜呑みにしてしまうこともありますが、色々な食べ物を食べてもらいたいです。また、関心があるけれどもなかなか実践できない方もいますね。</p> <p>この辺りを踏まえて、市民意識調査の実施についてご説明させていただきます。</p> |

(3) 市民意識調査の実施について

| 発言者 | 内容 |
|-----|---|
| 事務局 | <p>市民意識調査の実施についてご説明いたします。</p> <p>資料6の「第3期八王子市食育推進計画策定における市民意識調査の実施について」をご覧ください。</p> <p>来年度第3期八王子市食育推進計画を策定していくにあたり、今年度は市民意識調査を実施したいと考えております。</p> <p>まず、目的が2つあります。</p> <p>一つは第2期八王子市食育推進計画に掲げる将来像「食を大切にする人々を育むまち」において、ライフステージやライフスタイル毎の現状や課題を把握する基礎資料とすること。二つめは意識調査の結果をもとに、「第3期八王子市食育推進計画」の策定及び、「第2期八王子市食育推進計画」の評価を行うため実施することが目的です。</p> <p>続いて調査項目の案として、(1)食育への関心について、(2)食生活について、(3)健康の状況について、(4)地産地消について、(5)市で行っている食育に関する取り組みについて、(6)ご回答者ご本人について。上記の大</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>きく6つの視点を入れた調査を実施していく予定です。</p> <p>調査対象は、1つめに無作為抽出で18歳以上の市民2,000名、2つめに子どもの調査で保育園児、幼稚園児、小学生、中学生、高校生で2,000名に調査を実施する予定です。3つめに2つめの保育園、幼稚園、小学生の調査対象の保護者を対象と考えています。また、子どもの調査を聞く際に親の調査も同時に行えるように検討しているところです。</p> <p>特に大学生も含めた若者を意識していきたいと思っております。大学生の調査方法については後ほどの意見交換の際にみなさんにご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>調査時期は10月から11月に行う予定です。</p> <p>回答方法に関しては、紙面にて郵送し、返信用封筒にて回答していただきます。さらに今回が初めての試みですが、インターネットを利用した電子回答ができるように進めています。前回の調査の回答率を見てみると比較的高齢者の回答率が良いですが、若い人の回答率が低いため電子回答を導入し、回収率の向上を目指しています。</p> <p>調査報告書完成時期は令和2年2月を予定しております。</p> <p>続きまして、資料7、資料8をご覧ください。</p> <p>資料7は無作為抽出で大人向けに行ったアンケート調査になります。</p> <p>資料8が子ども向けに行ったアンケート調査です。</p> <p>子ども向けのアンケートは基本的に大人向けのアンケート調査の30問から10問を抜粋したものとなっています。</p> <p>アンケート調査の質問に関して、前回の第2期八王子市食育推進計画のアンケート調査と比較したいと思っておりますので、前回のアンケートに基づいて作成するように事務局で検討しております。</p> <p>事務局では食育は意識と行動に分けられ、2つが伴っていることが将来像の「食を大切にする人々」なのではないかと考えています。</p> <p>食に関しての情報を受け取ったあとに意識はする人と実際に行動に移す人に分けられると思います。第1期八王子市食育推進計画や第2期八王子市食育推進計画を通して、食を意識し、行動できる人が増えてきているという印象があります。しかし、食に関して無関心な層との健康格差が生まれているのではないかと懸念しています。そこでアンケート調査で明らかにしたいと思っております。また、無関心層の方を無意識に意識や行動に移せるような仕組みづくりを検討しています。</p> <p>前回の回収率については第2期八王子市食育推進計画の4ページに記載されています。</p> <p>回収率が43%と記載されていますが、回答者の年齢は50代が多く、30代が低い結果となっています。前回はお子様だけの調査を行っていましたが、今回はお子様をお持ちの親御さんに向けての調査も一緒に行うことを検討し</p> |
|-----|--|

| | |
|------------------------|---|
| <p>事務局</p> <p>健康部長</p> | <p>ております。一番調査したい働き盛りや子育て世代の食育に関する関心ごとも調査していきたいと思っております。</p> <p>今回の市民意識調査では幅を広げた意識調査を進めてまいります。</p> <p>質問など、ありますでしょうか。</p> <p>質問がないようなので、それでは情報交換にうつります。</p> |
| <p>4 情報交換</p> | |
| <p>発言者</p> | <p>内容</p> |
| <p>事務局</p> | <p>食に関心がある人となない人で地域格差が広がってしまう中で、食に関心がない人に対して支援をどう進めていくのが課題となってくると思います。ここからは普段皆さんが活動をする中で感じていることや意識調査の説明から感じたことなど自由に意見をいただきたいとおもいます。</p> <p>日々の皆さんの活動を通して食育や食行動について課題があることや意識調査に取り入れるべき項目等ご意見を頂戴できたらと思います。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>先ほど若い人は最近野菜を食べていないとの意見がありましたが、実際はどうでしょうか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>身近な大学生を例に挙げると栄養関係を学んでいる人はおにぎりやサラダ、サラダチキンを選んでいる人が多い、栄養に詳しくない人は菓子パン2個や食べたいものを食べるために1食抜くなど栄養が偏っている人が多い傾向がある。知識を持っていないことが原因なのではないでしょうか。</p> <p>また、小学校や中学校では家庭科の授業で食や栄養について学んでいるが高校や大学になると意識しなくなってしまうのではないのでしょうか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>小さい頃に学んではいるが成長とともに時間やお金がないなどのさまざまな阻害要因によって食への意識が遠のいてしまうのではないのでしょうか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>現在八王子市ではどういう病気が蔓延しているのかお聞きしたいです。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>罹患率はわからないが死亡率で一番多いのががんです。</p> <p>その他は心疾患、脳血管疾患、肺炎などが多く、脳血管疾患は40代、50代の亡くなる方もいらっしゃいます。若い人でも気を付けなければいけないということを伝えていく必要があるのではないかと。</p> |
| <p>委員</p> | <p>若い世代に食について授業をしているが学生から食事のバランスが大事と聞くがよくわからないという声が多く、どんな食事したらよいか、基本的なバランスがわからない人もいます。</p> |

| | |
|-----------|---|
| <p>委員</p> | <p>私はアスリートと一般大学生を対象としていますが、アスリートは特殊なので、今回は一般学生についてお話したいと思います。一般学生のお昼ごはんはコンビニでカップラーメンやから揚げ棒を買って食べている人が多く、学生本人も課題があることもわかっているようです。大学の授業を受けて行動変容をして食に気をつけていたら体脂肪が減ったなど実感している学生も数名います。座学の授業だが、食を身近に感じてもらえるように農業体験など体験の授業を取り入れるなど食べることが自分の体と密接であることを理解させたいと思いながら学生に伝えています。</p> <p>食育を学ぶのは小学生などの比較的幼い時期であるため、食育について忘れてしまっていたり、大学生では自分の考えで食を選択しているためアプローチが難しいが、食の大切さを見直す機会を作ることができたらと思います。大学で食育に関するサークルを作る、学食を利用した教育などの工夫が必要だと思います。</p> <p>また、意識調査では学生には大学の授業内で WEB 上で回答できるようにすれば回答率は上がるのではないかと思います。</p> |
| <p>委員</p> | <p>私自身も若い人が食について理解できていないと感じているため、日頃から若い世代に伝えたいと思っています。</p> <p>特に若い人で食に関心があってアンテナを張っている人は良いが、関心がない人に対してどのようにアプローチをするのが重要だと思います。</p> <p>大学生では専門の分野を専攻していて食に興味があり、学んでいる人はいいが興味がない人がほとんどではないだろうか。</p> <p>なので、小学校から高校の家庭科の授業でしっかり情報提供することが大切だと思います。</p> |
| <p>委員</p> | <p>小学校、中学校、高校で家庭科の授業をしています。男子高校でも栄養についての授業をしているが興味を持ってくれます。ただ、最近ではネットで様々な情報が得られるため、これさえ食べていれば痩せられるといった情報から</p> <p>摂食障害に陥る学生もいます。食について繰り返しさまざまところで耳にする機会を増やし、間違えた情報を正すことも必要かと思います。</p> <p>また意識調査では母体となる地域によって異なるため、広くそれぞれの学校へアプローチしていくとよいのではないかと。</p> |
| <p>委員</p> | <p>中学校の給食は給食か持参のお弁当を選べるため好き嫌が多い子はお弁当を持参しています。やはり親が子どもの苦手なものは作らないとすると子どもはさらに食べなくなってしまいます。親に食育をするために1歳児～2歳児健診で子どもの食について教育があるとよいと思います。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>保育園では離乳食を出しているため、好き嫌いは少ないが途中入園などでご家庭の味を知ってしまっているとなかなか苦手意識を変えることが難しいですが、食育でカレーに自分たちで作ったパプリカを入れると苦手と食べなかった子も食べるようになります。最近の保育園では食育を充実させているところが多いです。</p> <p>ただ減額された給食費の中でどのくらいの食育ができるかというところが今後の課題だと思っております。私としては八王子産の食材や郷土の味を知ってもらいたいと思っているので費用面を考慮しつつ、給食の質を保ちたいと考えています。</p> |
| 委員 | <p>私は、3歳児と0歳児を子育ての中で課題と感ずることの一つとして、八王子市の健診では資料を配付したり展示したりと離乳食や幼児食についての情報提供をしてくれていますが、たくさんの資料の中から、自分自身で必要な情報を察知し、その情報を取り入れることはかなり難しいため、八王子市や周りのサポートが重要であると思います。</p> <p>核家族が増え、育児や食事について一人で抱え込んでしまう人が多くなっているため、特に若い女性（子育てをしている主婦）をサポートする仕組みづくりが今後必要となっていくのではないかと思います。</p> |
| 委員 | <p>私は地域で活動している中で感ずることは友達に自分が聞いた話をしていながらなかなか耳を傾けてはくれず、知っているという反応をされてしまいます。ただ知っているが対策はわからないことがあるので一人一人の行動を支えてくれる人や場所が必要だと思っております。</p> |
| 委員 | <p>先ほど体験というお話がでしたが、私は酪農で牛を飼っていて、イベントなどの体験を行っています。</p> <p>体験をやっている認知度が低く関心のある人はイベントに参加するがまだ参加者が少ない状況です。食にもっと興味を持ってもらえるようにしていかなければならないと思っております。</p> |
| 委員 | <p>私どもも健康に配慮しており、最近では減塩のソーセージや減塩のちくわ等を販売しています。しかし、スタンダードの方が売れています。</p> <p>減塩でも美味しさを保てるように工夫をしております。価格が変わらないが、スタンダードの方が売れていることを考えると世の中の市民の健康意識がそこまで上昇していないのではないかと思います。</p> |
| 事務局 | <p>最後となりましたが、皆さんの意見の感想やお子さんの成長段階を長年見ている中で日頃感じていることがあればお願いします。</p> |

